

## 泉の森におけるネズミ捕獲調査

佐藤 ひな子・早川 直美  
(トトロのふるさと基金)

### 要旨

2022年2月にトトロの森54号地でシャーマントラップ等を用いたネズミ捕獲調査を実施したところ、アカネズミ2個体が捕獲され、生息が確認された。

**キーワード**：アカネズミ；シャーマントラップ；赤外線センサーカメラ

### はじめに

対象地では赤外線センサーカメラを用いた撮影により、哺乳類（タヌキ、ネコ、アライグマ等）の生息が確認されている（児嶋 2023）。ネズミ類は小型であるため撮影できたとしても写真では同定が困難である。そのため、ネズミ捕獲装置を用いた捕獲調査を実施し、どのような種がトラスト地に生息しているか明らかにしようとした。なお、調査にあたっては埼玉県知事により許可を得て行った。

調査協力者（敬称略 50音順）

児嶋翼、佐藤ひな子、対馬良一、早川直美

### 調査方法

3日間の調査を1セットとし、計2セット（2022年2月18日～20日と2月25～27日）を行った。使用機材は、シャーマントラップ（折りたたみ捕獲罠 シャーマントラップ LFATDG）5個とプラスチック製のネズミ捕獲機4個、合計9個を使用した（図1）。トトロの森54号地に、これらのトラップを適当な距離を置いて配置した（図2）。餌はナッツとアーモンドペーストを混ぜ固めたものを用い、トラップに入った個体が巡回までの間に凍死しないようにトラップを新聞紙やビニールで覆った（図3）。1日目の15:00にセットし、1日目の22:00と翌朝8:00に見回り、以降15:00まではトラップを閉鎖した。

### 結果と考察

20日の朝8:00に2個体、27日の朝8:00の見回り時に1個体の合計3個体のアカネズミ（*Apoclemus speciosus*）がシャーマントラップで捕獲された（図4、表1）。

捕獲されたところは、朽ちた切り株のそばと朽ちた竹残渣のそばで、そこを生活圏として使っていることが考えられる。



図1 トラップ(左)、シャーメントラップ(中)、プラスチック製ネズミ捕獲機(右)

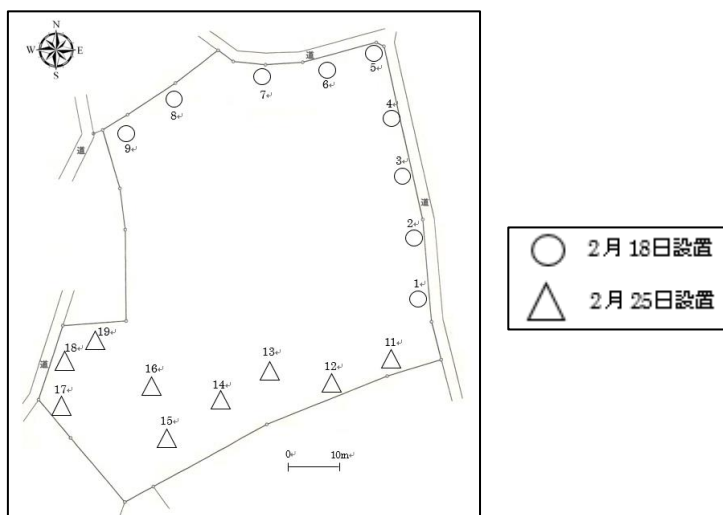


図2 トラップ設置図



図3 調査の様子



図4 捕獲されたアカネズミ

**参考文献**

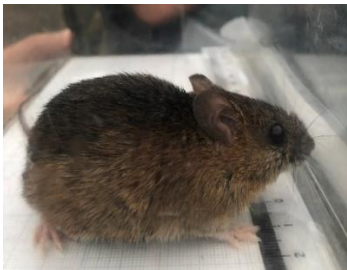





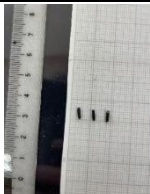
ネズミ類の捕獲法 村上興正 哺乳類科学 より

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/mammalianscience/31/2/31\\_2\\_127/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/mammalianscience/31/2/31_2_127/_pdf)

**引用文献**

児嶋翼 (2023) 泉の森における哺乳類・鳥類相の調査. トトロのふるさと基金自然環境調査報告書 17 : 78-89.

表 1 捕獲したアカネズミの記録

日時	2022年2月20日 8:00	2月20日 8:00	2月27日 8:00
No.	トラップNo.③	トラップNo.④	トラップNo.⑫
			撮影前に逃走
			
			
体重	40g	29g	計測前に逃走
体長	191mm	約 150mm(ケースから目測) 計測前に逃走	計測前に逃走
尾長	98mm	85mm	計測前に逃走
雌雄	オス	不明	不明
糞		 3ミリくらい	 5ミリくらい